

大泉町

国土強靱化地域計画

令和4年3月

大泉町

国土強靱化地域計画

大泉町長
村山俊明



わが国は阪神・淡路大震災や東日本大震災等の地震災害やカスリーン台風
に代表される台風災害等、これまでに数多くの大規模自然災害に見舞わ
れてきました。

本町においても、令和元年東日本台風時には、記録的な豪雨や河川の越
水等により、多数の家屋に浸水被害が発生し、2,600名を超える方が
避難するなど、本町がこれまでに経験したことのない大規模な災害とな
りました。

また、近年の気候変動の影響により、局地的大雨などの発生も増加して
おり、更なる災害対応の充実が必要となっていることを鑑み、国は自然災
害が発生する度に長期間をかけて復旧・復興を図るといった事後対策の繰
り返しを避け、事前防災・減災等の対策を予め総合的かつ計画的に実施す
ることにより、いかなる災害が発生しようとも被害が致命的なものとなら
ず、迅速に回復できる強靱な地域を作り上げていくため、国土強靱化を推
進し、本町におきましても、町民・企業・行政が協働し、強さとしなやか
さを併せ持った町を目指すため「大泉町国土強靱化地域計画」を策定しま
した。

今後、大規模自然災害が発生しても元気な地域を維持していけるよう、
本計画を基本として、安全・安心で災害に強い地域づくりに全力で取り組
んでまいります。

目次

第1章 はじめに

- 1 計画策定の背景と趣旨 2
- 2 計画の位置づけ 2
- 3 計画の期間 2

第2章 本町の概況

- 1 地勢・人口等 6
- 2 過去の災害 9

第3章 強靱化の基本的な考え方

- 1 基本目標 12
- 2 事前に備えるべき目標 12

第4章 脆弱性評価

- 1 脆弱性評価の考え方 14
- 2 対象とする自然災害の設定 15
- 3 事前に備えるべき目標と起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の設定 . 17
- 4 施策分野の設定 19
- 5 起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）を回避するための施策の分析及び評価 . 19

第5章 強靱化の推進方針

- 1 施策ごとの推進方針 22
- 2 施策の重点化 22
- 3 重要業績指標（KPI）の設定 23

第6章 計画の推進及び進捗管理

- 1 他の計画等の見直し 26
- 2 進捗管理 26

- 資料編 「脆弱性評価結果」・「施策の推進方針」 27